



広報

たしろ

No 504

平成 7 年

9月号

平成7年9月14日発行

田代町役場企画管財課編集

肝属郡田代町麓827番地1



クラシック仕込みの 甘いぶどう

花瀬観光ぶどう園

(詳しくは、関連記事 3 ページ)

花瀬観光ぶどう園 オープン 実りの秋満喫



大きなぶどう

おいしいよ

本町のぶどう園は昨年から本格的な収穫を開始し約四万九千房の巨峰が実った。初収穫されたぶどうの一部は、町の特別養護老人ホーム（南松園）の入園者へ進呈された。



初収穫ぶどうを南松園へ



開園を祝って

入園者は、青年団ボランティアの手により車椅子で舞台前に集まり、大原小児童の合奏を皮切りに出しものを楽しみました。

また、当日は本町平石出身の「ベティ」さんが里帰りされており、ボランティアで飛び入り出演して下さいました。

さいました。最後は、花火で締めくくり過去最高の人出で、例年になく盛り上がった素晴らしい慰問になりました。この川原地区南松園慰問の夕べで、本町三つの夏まつりの最後を締めくくりました。

八月十三日(日)大原地区の「もみじ夏祭り」が地区内のふれあい広場であった。主催は、大原地区むらづくり推進協議会の青年部（大浦地穀部長）で、里帰りした家族連れや地域住民らに楽しいひとときを過ごしてもらおうと開かれた。



「永生きて下さいね」



「幸せ音頭」 南松園寮母



「マダム・ベティ」による華やかなショータイム

田代町夏祭り

もみじ夏祭り 南松園慰問の夕べ



大原小児童による10曲連奏



逃げる魚を懸命に



大原のセーラームーン?



もみじの里の麦畑!

青年団では、準備のために川原グラウンドの草刈り清掃や舞台設営に精を出し、当日は、中学、高校生も南松園の入園者へボランティアで世話をし祭に望みました。

八月十三日(日)大原地区の「もみじ夏祭り」が地区内のふれあい広場であった。主催は、大原地区むらづくり推進協議会の青年部（大浦地穀部長）で、里帰りした家族連れや地域住民らに楽しいひとときを過ごしてもらおうと開かれた。青年部員らは、打合わせや会場設営など一カ月ほど前から準備し、当日もテキパキ運営をこなした。大原小児童による合奏や舞台発表、打上げ花火などを満喫し、クライマックスのチビ子にじますつかみ取り大会では、参加者も多く逃げ回る魚を一生懸命追いかけまわし楽しそうでした。また八月十八日(金)川原青年団（舞原千昭団長）主催による毎年恒例の「南松園慰問の夕べ」が開催されました。

国道448号の拡幅整備計画 (まちなみふれあい街道)の調査測量はじまる

田代町においては、町の中心部を横断する国道448号の拡幅整備計画と併せ「まちなみ・ふれあい街道」の整備についても麓地区むらづくり推進協議会で話し合いが、続けられて道路整備への気運が高まり、国道448号田代町麓地区環境

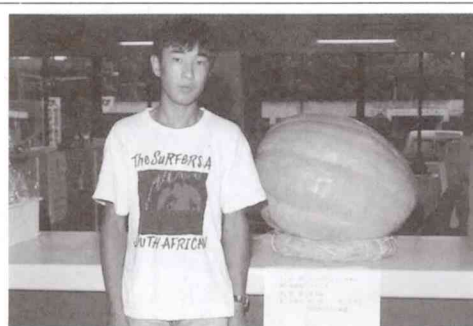
整備推進協議会が設立され、これを推進母体として道路整備に必要な事項や敷地内立入についての説明会を開催し関係者の皆様方の御了解を得て調査測量が始まりました。本町でも、この整備計画を町の「礎え」として、豊

かな生活の実現、活力ある地域づくり、良好な環境づくりのための効率的かつ総合的な整備を図り、麓地区の発展は素より、町の産業の振興、観光資源の活用等田代町の活性化に一層の効果を期待しております。



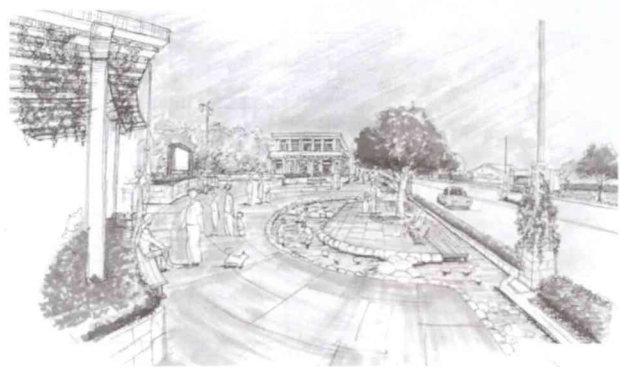
田代町産ジャイアントカボチャ

田代町にもこんなに大きなカボチャが実りました。



生産者 田中一光君 (山ノ口)

山ノ口集落の田中一光君(十七才)が、重さ五十三キロのジャイアントカボチャを作り上げました。きっかけは、新聞の広告でジャイアントカボチャを見て興味を示し自分の手で作ってみようと本年三月に作付したそうです。六個のカボチャが実りその中の最重量を役場経済課カウンターに展示してありますので御覧下さい。ちなみに食用にはならなくて観賞用との事でした。



1. 調査の範囲
下集落より橋ノ口集落(旧高校跡下)までの国道及びその沿線
2. イメージ計画図
上：情報広場空間(役場前、交差点等)
右：歴史と情緒空間(武家屋敷、歩道等)

（司法書士 料）
土地家屋調査士（無料）法律相談
日時 十月一日 日曜日
場所 午前10時～午後4時
大根占中央公民館
鹿屋市中央公民館
連絡先
司法書士会鹿屋支部
0994-06662
土地家屋調査士会鹿屋支部
0994-0246

大隅広域イベント
九月二十三日 土曜日
○鹿屋市さわやか牧場
ふれあい祭り
鹿屋市鳴之尾牧場
乗馬・草スキー・大声・丸太切り・スケッチ等
鹿屋市畜産課
0994-2111
十月十五日 日曜日
○ねじめドラゴンボート
フェスティバル
根占町雄川
ドラゴンボートレース
根占商工会 0994-2320
○やぶさめ祭り
高山川河川敷
綱引き選手権・魚つかみ
どり・ひよっとこ踊り
高山町商工会
0994-2226

国保・健康だより

◎保険証の更新について

被保険者の皆さんが、現在使用中の国民健康保険被保険者証（保険証）は、九月三十日までの有効期限となっており、期限がすぎると使用できなくなります。

九月二十一日（木曜日）から役場民生課窓口及び、各集落公民館に於いて切り替えを行いますので、保険証と印鑑を持参のうえ必ず切り替えを済ませて下さい。尚、日程については、後日、集落小組合長を通じて連絡いたします。

◎保険税について

国保に加入すると、保険税を納める義務が生じます。納められた保険税は、国などの補助金と合わせて、みなさんが病気やケガをしたときの医療費をはじめ

め、出産育児一時金、葬祭費などの給付の費用にあてられます。その保険税は、年一回九月に税額が決定されます。

納期は、四月、七月、九月、十一月、一月合計五期ありますが、税額が決定される前の四、七月（第一、二期分）は、仮課税として納めていただきます。そして、九月に税率等が決定し本課税として第三期分から調整されます。これは、前年中の所得額確定の時期が遅れるためにこの方式がとられております。

次に、保険税の決め方ですが、その年に必要とされる医療費から、窓口で支払

う一部負担金や国などからの補助金を差し引いた額を上記の項目にふりわけて計算し、その合計額を一年間の保険税とします。

みなさんが病気やけがをしたとき、安心して治療が受けられるように納めるのが保険税です。うっかり納めるのを忘れたり、納めるのが面倒だからという理由で、滞納していると、国保の財源が確保できないばかりでなく、国保でお医者さんにかかれなくなります。保険税はみなさんの健康を守る大切な財源です。決められた日までにちゃんと納めるようにしましょう。

国勢調査人口予想懸賞募集

平成七年十月一日に実施される国勢調査による鹿児島県の総人口を予想してください。

○応募資格
県内に住んでいる人

○応募方法
郵便ハガキ一枚に予想人口一点を記入してください。（応募枚数は一人につき一枚まで）

○締切り
十月一日（日）

○賞（当日消印有効）
1等賞3万円 1名
2等賞2万円 2名
3等賞1万円 3名
残念賞5千円 9名

▽応募・問い合わせ先
〒八九二 鹿児島市山下町一四一五〇
県庁統計課 人口予想係
0992-8111

国勢調査

平成7年10月1日

総務庁統計局
鹿児島県田代町

あなたの企業の時短を支援する 時短奨励金制度のご案内

中小企業の皆さんへ

労働時間短縮支援センター鹿児島県支部では、週40時間労働制が猶予されている労働者300人以下の中小企業の時短を応援するために、省力化投資等又は新たな雇入れを行い週所定労働時間を短縮した際に最高375万円の奨励金を支給しています。

時短に取り組む中小企業事業主さんは、積極的にご活用ください。

●支給額

常時雇用する労働者の数	1～30人	31～100人	101～300人
短縮した1週間の所定労働時間数			
1時間以上2時間未満	25万円	75万円	150万円
2時間以上	50万円	150万円	300万円
3時間以上短縮し、かつ週40時間を達成した場合	75万円	200万円	375万円

(注) 既に週40時間労働制が適用となっている金融業・通信業等や、特例措置の対象となっている労働者が9人以下の商業、映画・演劇業、保険衛生業及び接客娯楽業の事業場は支給対象になりませんのでご注意ください。

☆時短奨励金制度の詳しい内容については、下記までお問い合わせください。

労働時間短縮支援センター鹿児島県支部 (鹿児島県労働基準協会連合会内)

〒892 鹿児島市新屋敷町16-16

☎ 0992 3621 F A X 0992 3622

第4回がごしまフォト農美展の作品募集

県庁農地整備課

☎ 0992 8111

介護休業制度の普及・定着

介護休業制度は、「介護を必要とする家族を有する労働者の申し出により、その労働者が介護のため一定期間仕事を休むことを認める制度」です。

この度の介護休業制度の法制化により、介護の問題を抱えた労働者が仕事と介護を両立できる法的環境が整いました。

労働省では、労働者の仕事と介護との両立を支援する事業主の方へ対して、各種給付金を支給することにしています。

皆さんの事業所においても仕事と介護との両立を容易にする介護休業制度について理解を深め、職場に介護休業制度を普及・定着させましょう。

▽問い合わせ先

鹿児島県労働少年室 (☎ 0992 8446) 県庁労働課 (☎ 0992 8111)

忘れないうちに

納めておきたいですね。

国民年金保険料

行楽シーズンもうすぐです。いろいろ予定はあるでしょうけれども、ちっと縮小して「国民年金保険料の前納」をしてみたいかがですか。

今年の春からは手の届きやすい「六カ月の前納制度」も登場しました。ぜひ利用してみたいかどうか!!

定額保険料 (六カ月分)

・通常納付

七〇、二〇〇円

・前納

六九、四二〇円

・割引額

七八〇円

「はつらつ家族

1・LOVESKULE」

鹿屋保健所では、「はつらつ家族1・LOVESKULE」を十回シリーズで行います。仲間と一緒に自分の健康や

先

家族の健康について学んでみませんか。

*内容 「気軽な山歩き」「体力測定」「調理実習」「自律訓練法」「更年期について」「温泉の効用」等

*対象者 健康について関心がある方で、体力測定や登山等を安全にできる四〇～六〇歳程度の主婦等

*日時 一回目 平成七年十月十八日(水) 13:30～16:00

二、十回目 平成七年十二月二十一日迄の毎週一回

*場所 鹿屋市内の施設

*申し込み期限 平成七年九月末日迄

*その他

①原則として毎回参加可能であること

②定員四〇名程度 (申し込み多数の場合は抽選)

③経費の一部負担有り

④基本健康診査・職場健康診査の結果によってはお断りすることがあります。

(平成七年か平成六年の健康診査の結果を持参のこと) *申し込み先・問い合わせ

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



平成7年8月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,797	1	1		2	0
女	1,991	1	3			4
計	3,788	2	4		2	4
世帯数	1,423					2

人口のうごき



田代町社会福祉協議会

「篤志寄附金」

さきにご逝去された方のご遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の寄付を賜りました。

厚くお礼申し上げますと共に、ご冥福をお祈りします。

右田 勉 様
岩井原 郁夫 様
川路 キミ子 様

休日在宅医

月 日	当 番 医	TEL
9/15	黒木内科小児科	6-0750
9/17	阿久根医院	4-2100
9/23	城西胃腸科外科	4-2977
9/24	濱畑医院	5-2130
10/1	大根占医院	2-2658

学校だより

●学級旗・学級歌コンクール
今年も大成功！
田代中学校



心をひとつにして

一年生の学級歌

「夢へ向かって」
田代中の一年生は
夢をもって一人一人が
輝いている
みんなでいっしょに
星のように大空で
輝いている
悲しみや楽しさを
わかり合えば
きっと いろんなことがあ
るうと
僕は
まっすぐ生きていく



1年生の旗が(右)がBest賞に

●親子学林地作業

山奥にある学林地、今年も親子で汗を流しました。九年前に植えた「くぬぎ」もこんなに生育しています



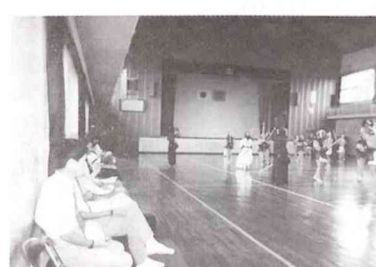
暑かったよ!!

●同和教育指導者研究会

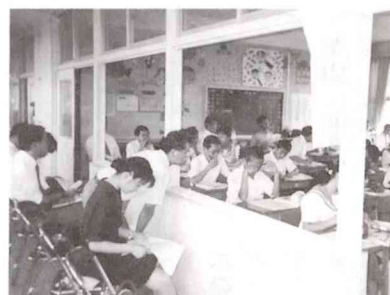
一人一人の生徒を大切に
する授業を英語と体育の実
践を通して研究しました。



分科会で真剣な討議



参加者も剣道をしたくなりました



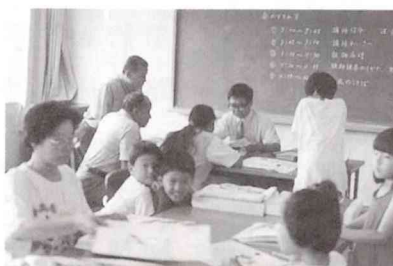
英語はとても楽しい

高校学生会ふるさと大会・
ジョギング大会

七月三〇日(日)に地区別高
校学生会総会が開かれまし
たが、八月十九日(土)には、
高校学生会ふるさと大会が
開催されました。
第一部の総会では、昨年
度の事業報告や決算の承認
を受け、本年度の事業計画
や予算案の提案と承認、新
役員の報告と承認が行われ
ました。
第二部のふるさと親睦会
では、先輩でJA肝属田代
支所勤務の元田代町青年団
長の水flow洋一さんが、主
に自分の高校時代の体験をも
とに、自分が学んだこと、
後輩に望むことを述べられ
感動をよびました。



明日の田代を考える



この植物の名前は?!

根占町、吾平町から参加し
た児童・生徒もあり、例年
よりやや多い約三〇名が参
加しました。
保護者も五名ほど見えら
れ、「親の後ろ姿」を垣間見
ることができました。
来年はもっと多くの参加
者があることを期待します。

ジョン・オマラ君
来町!



七月二十
六日、アメ
リカ合衆国
のコネティ
カット州モンローより、A
LT三代目、ジョン・エド
ワード・オマラさんが来町
されました。

ユーモアがあり、町民の
人気者だったブライアンが
アメリカに帰っていったの
で淋しい思いをしていまし
たが、またこうして新しい
ALTを迎えることができました。

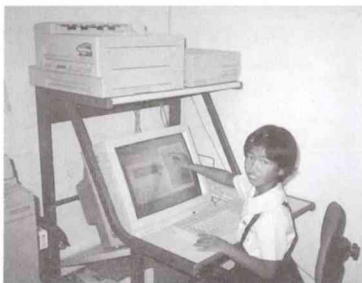
みなさん、こんにちは。はじめまして。わたしはジョン・オマ
ラでございます。にほんごをちよつとべんきょうしましたが、
まだへたです。これからいねんかんお世話になります。アメ
リカのコネティカットからまいりました。コネティカットは二
ユーヨークのそばです。コルゲートだいがくでえいごことせいぶ
つがくをべんきょうしました。
わたしはスキーやボートをこぐことやテニスがすきです。にじ
ゆういっさいです。ちちはどつろのせつけいしです。はははハ
ートホードだいがくでにんげんがくとげんだいげきをおしえま
す。わたしはたしろがすきですが、とてもあついです。この
やまはきれいだとおもいます。たしろのひとはとてもやさしい
ですねえ。にほんのひじゅつとおんがくをべんきょうしてみたい
です。もしわたしになにかききたいことがあれば、どうぞえ
んりよなくきいてください。よろしくおねがいします。

生涯学習の力強い助っ人!
リンク96の活用を

平成六年度末に、国の補
助を得て、本町に生涯学習
情報提供システム(リンク
96)の端末が設置されまし
た(中央公民館一階)。

このシステムでは、県内
96市町村の生涯学習に関す
る情報(指導者、施設、教
室、講座など)が県教育委
員会のホスト・コンピュー
タに入力されており、各市
町村の端末コンピュータか
ら自由にしかも、きわめて
簡単に呼び出すことができ
ます。

生きがい健康づくりのた
めにぜひご利用ください。
操作については、教育委員
会職員がお手伝いします。



タッチパネル方式で操作は簡単

新しい機器、ソフト
が入りました!
ご利用ください!



利用をお待ちしています

☆肝属南部地区AVL田代
分室(教育委員会内)

5	4	3	2	1	
ビデオ教材 「素敵にボランティア」	第2巻 DHC H-430	接合機 ST-16	16ミリフィルム用 カラービデオプリンター ソニー CVP-M1	ビデオカメラ一式 ソニー CCD-VXI	機器・ソフト
用	社会教育	補修用	から写真	ビデオ	内容等

☆教育委員会(寄贈ビデオ)

3	2	1	
情報の高速フリーウェイ・ INSネット	知ってほしいエイズのこと	未来からのメッセージ 変えてみよう	ほんのちよつと 変えてみよう
デジタル ネットワーク	題中學生	エイズ問	難民問題
			内容

田代町中央公 民館	県立青少年 研修センター	国立大隅少年 自然の家	場所
23日(土)	9日(土)	23日(土)・24日(日)	期日
ゲームをしよう (午前9時~)	みんなで楽しい クッキング	秋の夜空の観察会	主な内容
(5) 2515	0892 (24) 2111	0894 (46) 2222	TEL

◎家庭の連携・協力
・学校週五日制の趣旨を理
解し、家庭の役割などに
ついて見直す。
・休業日の過ごし方を家族
ぐるみで話し合う。
・諸活動への参加は、子ど
もの自主性を尊重しつつ、
正しい判断ができるよう、
適切な指導、助言を行う。
・過度の塾通いにならない
ようにする。
※休業土曜日は、地域にお
ける団体体育成や自主的な
サークル活動を促進する
絶好の機会です。
九月の学校週五日制関連事
業(詳しくは教育委員会まで)

韓国にふれてきました

田代二才の旅
7/27 ~ 8/31



韓国の風俗と歴史にふれて



韓国の友だちができました

本町の小中学生10名が参加した平成七年度「田代二才の旅」は四泊五日の日程で開かれました。
雨田国民学校（全州市）での心温まる交流。韓国民俗村（水原市近郊）での体

験。景福宮（ソウル市）の見学と記念撮影。ロッテワールド（ソウル市）での楽しい思い出、等々……。なかでも、雨田国民学校で培った新しい友情は、一生の宝物となったようです。文通を始めた参加者もいます。

「火の島交流」がやってきました



生まれて初めて稲刈り体験

昨年引き続き、47名の桜島町の小中学生と青年が大原地区を訪れました。第一日目は、山下集落の水田で「稲刈り」を体験しました。川がない桜島には水田がないので、初めての体験です。
二日目には、桜島からの



川遊びに大はしゃぎ

移住者の入植地（内之牧・中尾・久木野）を訪れ、午後からは大原地区子供会との交流（川遊び・レクリエーション）もありました。今後、この交流がどう深まるか、とても楽しみです。

星空のオーバー ナイトウォーク

夜の10時30分、大原地区ふれあい広場を出発した子ども会員と育成者、指導者は、一路、ゴールをめざしました。小学校低学年は5km、中学年は10km、高学年から中学生は内之浦町岸良までの約18kmの長い道のりです。
危険な地点には育成者が立ったり、ゴールではスイカを準備したりするなど、

地区全体のチームワークに支えられ、参加者は貴重な一夜を体験できました。

田代小リードバンドの演奏にうつとり

平成七年度肝属地区さつまっ子の集い・創作活動大会が高山町で開かれました。舞台発表で田代小リードバンドが演奏した他、創作活動などで二市九町の子供たちが協力して頑張り、よい交流ができました。



演奏の後に記念撮影

リーダーとしての自覚と体験を

今年度は「県立南薩少年自然の家」で47名の参加によって開催されました。カヌー、サイクリング、キャンプ、金峰山登山など



カヌーはチームワークで



きつかった金峰山登山

二泊三日の日程の中で様々な体験を積み、協力することの大切さを自覚できました。
また、一日目の夜の、危険予知トレーニングでは、活動計画を立てる前の危険予防について学習しました。今後の子ども会活動にぜひ生かしてほしいですね。